

# 危機しのげるか

## 関西中小

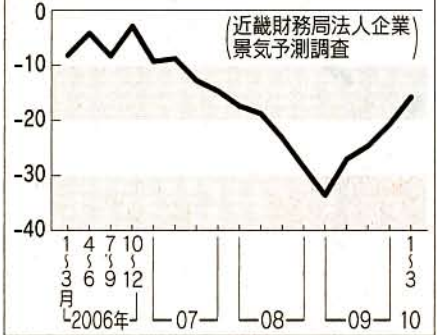
### 薄明かりの中で

「1年前と比べると、画を提出、すんなり繰り金融機関の態度が全然違 延べ延長が認められた。った」。昨年12月に施行 円滑化法は、資金繰りされた中小企業金融円滑 金に苦しむ中小企業が借入化法で、融資の返済条件 金の返済条件の変更を求の見直しにこぎ着けた大 めた際に金融機関に積極 阪市内のサービス業社長 的に応じるよう求めた法 は安堵（あんど）する。 律。拒絶する場合、金融 業績悪化で資金繰りが敵 機関は金融庁に理由を報 しくなったが、当面は元 告しなければならぬ。 金返済を凍結して利息の 支払いだけとなった。

1年前に債務繰り延べ 大坂銀行協会などと連 を要請した際は、渋る8 携して円滑化法利用の指 つの取引行の説得に半年 導にあたっては大阪商 会かかった。今回は事業再 工会議所には23日まで 生会社、さいせい（大阪 中小企業から55件の相談 市、真造豊久社長）の支 があつたという。近畿財 援でまとめた経営改善計 務局によると、2010

# 円滑化法、利用手探り

関西の中小企業の資金繰り判断指数(BSI)



大阪商工会議所には、円滑化法利用の相談が23日までに55件あつた(大阪市)

## 借入先多く 手続き時間

年1月末時点で関西2府 4 県の中小の申し込み件 数は1万842件(速報 関に経営の主導権を握ら べース)。変更を履行し たるのは4628件で、拒 絶は17件にとどまる。

「従来より条件変更を 受け入れてもらいやすく なつた」とさいせいと大 商は口をそろえる。

それでも利用は手探り 地銀)条件変更到手間取 ても複数の取引行の調整

の面もある。関西の中小 経営者は、特定の金融機 関に経営の主導権を握ら たるのを嫌がり、「取引 した奈良市の建設会社は、 経営者自らの貯金を取り 崩すほど資金繰りに行き 詰まった。円滑化法利用 を申し込んだが、取引行 5行から同意を取るのに 約1カ月かかった。大商 数(BSI)は5%改善し 指摘する。

に中小企業診断士が立ち 会つている案件がある。 既存の融資の借り換え 円滑化法を利用した八 尾市の機械メーカー社長 は「本当にカネが必要な 中小にはあまり流れてい ないのでは」と首をひね る。業績は堅調で資金繰 りに苦しんだ経験はない (東大阪の自動車部 品メーカー社長)と、依 然利用に慎重な考えも根 強い。一方、金融機関側 は「モラルハザード(倫 理の欠如)としか思えな い案件が増えてきた」こ のままだと数年後に多額 の貸し倒れが発生するの では(ともに大手銀行) と懸念する。

さいせいの真造社長は 「円滑化法は金融機関側 も勝手がわからない部分 もある。中小も過度な期 待はしない方がいい」と

### 「心証が心配」

近畿財務局が発表した 10年1~3月の法人企業 景気予測調査によると、 資金繰りが前四半期より 「改善した」と回答した 企業の割合から「悪化し た」を引いて算出する指 待はしない方がいい」と

京 滋

